

令和8年度 第1回 鳥取市男女共同参画審議会 議事概要

- 1 開催日時 令和8年7月28日（火）10時00分から11時20分
- 2 開催場所 鳥取市役所 本庁舎7階 全員協議会室
- 3 出席委員 徳田 純子（会長）、福田 克彦（副会長）、
山崎久美子、森下裕一、谷口真澄、吉村 雅子、森恵子、石上伸之、小林 明子
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 事 （1）「第4次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」の令和7年度の実施状況について
（2）「第5次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」の令和8年度の取組について
- 6 主な意見

議事（1）「第4次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」の令和7年度実施状況について

事務局より第4次鳥取市男女共同参画かがやきプランの令和7年度の実施状況を説明

- （委員） 実施状況は、目標数値を達成できればAという評価だろうが、すべてそのような数字が出ているということか。A評価が並んでいて素晴らしいと思う反面、どうも腑に落ちない部分があり、その部分を詳細に説明されれば理解できると考える。
- （会長） 第5次プランが動き始めているが第4次プランの総括をせずに第5次に移ることはできない。そうすると、数値がどう変化して良い評価になっているのか、やったかやらないかで評価していないだろうか。
- （副会長） 説明された評価は今年度に限っての実績を評価されているが、5年間での最終的な評価も必要だと考える。その最終的な評価についてはA～Dの数値では表せないのではないか。例えば4つのテーマのうち、重点項目についてはどうであったのかというような総括をしていただきたい。
- （委員） 管理的な評価と数値的な評価について整理するべきと思う。分かりやすい評価方法や説明の仕方がないだろうか。
- （会長） できたかできなかったか、評価に値する数字なのか、数字に表れない文言評価が必要なのも分かるが、数字の中に見える意味合いが必要ではないか。
- （委員） 計画を立てる中でそれぞれ数値目標等があるのではいかと思う。事業については評価の方法が統一されていないとのことだったが、それぞれの目標を達成という風に評価されると良いのではと思う。
- （委員） 評価があって次のアクションに繋がっていく。内訳や中身がどういうものを表しているのかというところがもう少しクリアになる方が、次のアクションに繋がるのではないかと感じる。
- （委員） 本当にすべてできているというわけではないだろうとは思う。全体的にどこができ

てどこができていないのか、もう少し分かりやすい方が良いと思うがこれをまとめるのも大変なのかなと思う。

議事（２）「第５次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」の令和８年度の取組について

事務局より第５次鳥取市男女共同参画かがやきプランの令和８年度の取組を説明

- （会 長）目標１の男女共同参画センターの機能強化について、具体的な取組というのはどれに該当するのか。
- （事 務 局）令和７年度の取組みと比較し、大きく変わりはなく、昨年度の取組より講座回数が減っている点を危惧されてのご質問と思われる。これについては、本年１月に国から男女共同参画センターに関するガイドラインが示され、その中でセンター職員の人材確保や能力の向上なども含まれていた。これを受けて令和８年度はセンター指導員の専門的な知識等を習得するための研修を受講することとしている。貸館利用等が増加する中、現体制では研修受講とあわせて昨年度並みの講座数を維持することが困難なこともあり、講座を厳選し内容を充実させることとしている。男女共同参画センター職員の能力向上を図りながら、力を蓄えて５年後に向けて飛躍したいと考えている。
- （会 長）男女共同参画センター職員の能力開発等の取組内容を入れておくと分かりやすくなるのではないかな。
- （会 長）鳥取県では、センター職員の能力開発や資質向上を目指した取組、計画等はあるのか。
- （委 員）計画については把握していないが日々の業務の中で能力の向上に取り組んでいる。
- （委 員）学校教育の現場においては保護者に向けた研修を行うと記載があるが、教職員が行うのか、講師を招くのか。
- （委 員）鳥取市全体の回答はできないが、男女共同参画という表現ではなく男女平等というところであらゆる学習は展開している。保護者を巻き込んで（研修等を）各学校で行っている。男女共同参画の意識を当然持ちながら、学校教育を進めている。
- （委 員）授業のカリキュラムに入っているのか、別途そのようなものを取り入れて行っているのか。
- （委 員）例えば小中学校では人権教育の視点であり、学級活動や道徳、特別活動で展開されている。各校の実態に応じて計画的に進めている。
- （会 長）男女共同参画についても子どもたちは吸収が早く、当たり前に話してくる。当たり前を受け取って行動をとる、いかに教育が大切かというのは、その子どもたちの成長を見ると分かる。保護者の方へもよろしく願いたい。
- （委 員）テーマ１男女共同参画の基盤づくりという点で学校教育は大きなウェートを占めていると思う。そういった視点を大切にしながら日々教育活動を進めている。男女共同参画の視点でのメディア・リテラシーの向上とは具体的にどのような部分な

のか。学校では一人1台端末となるなど子どもたちにとってメディアは身近なものとなっておりペアレンタルコントロールも重要になっている。一方家庭でメディアのルールを決めている家庭の数値は低い現状がある。

(事務局) 情報をどのように理解して使いこなすのか、正しい情報、間違った情報を自分の中で理解できるかが重要であり、メディア・リテラシーを向上することにより、例えば犯罪に巻き込まれるリスクを低減することに繋がる。男女共同参画センターの講座でもメディア・リテラシーの向上に向けた講座を行っている。また、特に若年層にも力を入れていきたいため、総合教育センターや生涯学習・スポーツ課の事業を予定いただいている。

(委員) 情報教育の視点で多くの情報の中でいかに正しいものを見極めるか、その選択をできる能力は子どもたちには身に付けさせていくべき力の一つと考えており、引き続き学校現場でも取り組んでいきたい。

(委員) 自治会や町内会には公民館があり、防災防犯、健康相談等の研修や講習があるが、男女共同参画と銘打って行っているのはあるのか。関係機関に全て任せて行われているのか。公民館を活用した啓発活動について説明してほしい。

(事務局) 男女共同参画課として、出前講座を行っており、今年度は無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消や男女共同参画の視点での防災講座を企画している。先般、自治連合会の地区会長会にて第5次プランを説明した際、一部の地区から全ての町内会長にかがやきプランの概要を配りたいとのご意向があり、出前講座のチラシも併せて案内した。研修会の実施は各地区の実情に応じて実施されるものと承知しているが、無意識の思い込みについては、今年度から県民運動が始まったところであり、力を入れていきたいと考えている。

(委員) 男女共同参画と銘打つとそれは何？と言われる。身近な防災や健康に関するものであれば出席者も多い。この取組について市民の方に、ここで議論しているようなことの一部でも知ってもらいたいのであれば、公民館を活用した取組が一番良いと思う。公民館の場というのが地域住民に馴染むのではないか。

(副会長) 家庭と学校が連携して子どもたちの教育をしていくということもあり、やはり公民館がキーになると思う。地区公民館連合会にもプランの説明をしたうえで出前講座をされるのも大事かと思う。

自分の地区ではアンコンシャス・バイアスをテーマに取り組もうと思っている。ただ、アンコンシャス・バイアスと話しても伝わらないと思うので、日常の偏見に気付こうというようなテーマで、鳥取県が制作された「思い込みカルタ」等を使って取り組みたいと考えている。

(委員) 困難な問題を抱える女性の相談窓口の強化について。相談に行くほどでもないという苦しみを抱えた人たちが自分の周りにはたくさんいる。バイアスが最後に出てきた一番の素の部分はこの女性たちの悩みだと思う。以前、男女共同参画センターの男らしさの講座を受けたが、まさにそれがなれの果てだと感じた。一部の人のこ

とではなく、そこに至るまでの経過を学ぶ必要があると思う。そこからフィードバックし、負から学ぶことを取り入れ、より実効性のあるものに変えていくことが突破口になるのではないか。

- (会長) このようなことを踏まえながら、取組内容をもう少し具体的に、前向きに捉えられるように各担当部署で充実してもらいたい。取組内容に出ているものについて、昨年度のものとはあまり変わっていない。(相談機関の案内カードの) 配布は手段であって目的ではないが、作った配ったで評価してよいのか。そのような視点で第5次プランの、取組状況を見ていきたい。
- (委員) 今後数年間を見据えたプランということだが、社会の構造が変わってきている。例えば、ある校区では町内会の加入率が非常に下がってきている。これまでと同じアプローチでは情報が届かない部分があると感じている。一部の学校では地域に配布することができないような状況を抱えているところもある。この講座をするので来てくださいと言っても関心がない人たちも増えていく現状もあると思う。第5次プランでは世の中の社会構造も見据えたアプローチの仕方が必要になると思う。
- (会長) 貴重なご意見をいただいた。ここに示されたのは、第5次プランの一年目の取組予定で、これから精査される可能性はあり、本日出た意見をもとに、さらに実効性のあるもの、目標が達成されるものになるとよいと思う。

議事(3) その他

事務局より今後のスケジュールを説明

(事務局) 事務局より、以下3点の連絡連絡

- ①資料および議事録の公開については、鳥取市公式ウェブサイトに掲載予定としている。
- ②現委員の任期は7月末をもって満了となる。この2年間、市民意識調査票の検討や第5次プランの策定において熱心にご審議いただいたことへ感謝申し上げます。
- ③第2回審議会については10月開催予定としている。

委員からの意見なし。

閉会